

1 内政

（1）新型コロナウイルス

- ア 保健省発表による8月末現在のワクチン接種状況（2021年8月31日時点）
1回目接種済2,768,918人、2回目接種済1,308,136人、合計約400万人。少なくとも1回接種した人の割合は全人口の29.2%。
- イ 当国のワクチン到着の状況（出所不明分を含めて計約570万回）は以下の通り（2021年8月30日時点）。
- （ア）政府による購入：ファイザー社製約120万回分到着済（契約約700万回分）、ロシア製スプートニクV 8万6千回分のみ到着済（契約420万回分）、アストラゼネカ社製約63万回分到着済（契約140万回分）
 - （イ）COVAXファシリティを通じた無償取得：モデルナ社製・アストラゼネカ製・ファイザー製（米国供与を含む）計約400万回分（供与予定数97%到着済）
 - （ウ）メキシコ政府からの譲渡：アストラゼネカ社製15万回分（到着済）
 - （エ）イスラエル政府からの譲渡：モデルナ社製5千回分（到着済）
 - （オ）エルサルバドル政府からの譲渡：アストラゼネカ社製約5.5万回分（到着済）
 - （カ）スペイン政府からの譲渡：10万回分（到着済）
 - （キ）NGOからの譲渡：モデルナ社製500回分
- ウ 8月29日を期限としていた夜間外出禁止令は、9月5日まで延長が決定した。
- エ 30日時点で、当国（人口約959万人）における感染者総数は338,757人、死者数は8,850人。（国家危機管理対策本部（SINAGER）発表）。
- オ 18日、エルナンデス大統領が、大統領府においてアストラゼネカ製の新型コロナワクチンの2回目接種を行った旨同日付当国大統領府プレスリリースを通じて発表。

（2）大統領選挙に向けた動き

- ア 21日17時よりINFOP（職業訓練庁）内会場で実施された投票用紙記載候補者順序決め抽選会において、CNE（選挙管理委員会）より、抽選順が自由党、国民党、リブレ党、以降、12政党および1独立候補と発表されたところ、各政党による不公平である旨の怒号と政党関係者のステージ乱入などが起こり場内は混乱した。同時に会場周辺で待っていた支持者同士でのいさかきも発生するなど、会場外でも暴力事件が発生した。投票順を決める抽選などを要求する政党との断続的協議が続いたが結論に至らず、CNEは翌22日16時から再度抽

選会を行うこととなった。抽選の延期は当初予定日の7月10日から数えて3回目の延期となった。CNEは22日16時から、各党代表が集まり抽選を行った。

イ 29日から、本年11月に実施される大統領選挙・国会議員等選挙における法定の選挙キャンペーン期間となり、各党大統領、国会議員、市長候補者が集会などをおこなった。選挙法に基づき、8月29日から90日間の選挙キャンペーン期間が開始される。改選は大統領（大統領代行候補3人もセット）、国会議員128議席、市長選挙298市（各市の評議員（Regidor）候補もセット）、中米議会議員20議席など計3,038ポストで、2021年は合計約4万人が立候補している。

（3） その他

ア 4日、教育省ブエソ大臣が、義務教育の一部学校を試行的に再開する「クラスに安全に戻る試行的計画（el pilotaje de un retorno seguro a clases）」を発表した。再開基準として（ア）関係者全員（当館注：教育省地方事務所（県もしくは市）、地方自治体、SINAGER、教職員、父兄会）の合意の下で、（イ）教職員が2度のワクチン接種を終えている、（ウ）最低限の感染防止のための衛生条件を満たしていること、が示されている。

イ 11日、当国外務省が移民オブザーバトリーと移民コールセンターの移設と、エルナンデス大統領による右施設視察を発表した。2017年に開設した移民オブザーバトリー「Conmigho（移民状況を管理する部局）」と、2015年に移民支援のための電話相談窓口として設置したコールセンターが移設されて、7月29日から稼働したため、大統領がロサレス外相、ヘレス外務次官を伴い、両施設の視察を行った。ALHO VOZ と呼ばれるコールセンターは現在約400件/1日の受電があり、2021年4月からの4か月間だけでも約5万件、2015年の開設以降、約198万件の電話相談を受け付けている。右センターは最大32人のスタッフでオブザーバトリー並びにコールセンター業務をおこなっている。受電の約60%は女性で、電話は主に米国（テキサス州、カリフォルニア州、フロリダ州、ニューヨーク市）およびスペインからが多い。

ウ 21日、ホンジュラス国立自治大学（UNAH）は、運営交付金の配布が遅延しており、主要研究の中断を余儀なくされている旨告発した。2020年には新規研究として125プロジェクトを承認し、国際雑誌にも公表している。2021年は新型コロナ関係を中心に73プロジェクトを承認していた。メディーナ研究部長によると、この2年間で運営交付金の配布不足から研究費が欠乏しており、予算は大学の維持管理と給与支払いにほぼ費やしており、予定していた37プロジェクトが中断してしまっている。その中のひとつはホンジュラス初の人工衛星事業「モラサン計画」も、今年9月15日に小型衛星の完成披露予定であ

った。しかし、研究者たちは計画通りの2022年の打ち上げを目標としており、希望を持ち続けたい旨の談話を発表している。

- エ 24日、麻薬組織首領ジョバンニ・ラミレス・フエンテスに対する米国ニューヨーク州南地区連邦地方裁判所での公判で、検察側が、3月22日に米国への麻薬密輸、重火器の不法所持などで有罪判決を受けていたフエンテス被告に対して、禁固70年、財産没収1億5,170万米ドル、罰金1,000万米ドルを求刑した。
- オ 26日、ホンジュラス救済党（当館注：ナスラーラ大統領候補の党）候補サントス氏が、兄弟が麻薬密輸関与の疑惑があるという報道を受けて、立候補を取り下げる連絡を党本部に行い、党もこれを了承した旨報じられた。
- カ 30日、政府の経済政策である官民パートナーシップ事業の監督事務局（Superintendencia）が17日に、EEH社にエネルギー公社（ENEE）との契約内容履行状況についての報告書の10日以内の提出を求めていた問題で、EEH社から報告書が提出された。報告書では、EEH社は契約を履行していることや、第2、3年次の契約内容履行状況について、監査を担当しているマニトバ国際水力発電社（Manitoba Hydro International）によって承認されている、EEH社重役会から監督事務局に対して質問がされたが回答がなかった旨などの反論をおこなったとされている。
- キ 8月29日、イスラス・デ・ラ・バイア県ロアタン市長ジェリー・ハン氏（自由党）が麻薬密輸容疑で逮捕されたと報じられた。検察の発表によると国家警察が、ロアタン市内を走行していた上水タンク車と追走する4輪駆動車を調べたところ、タンク車の中から約2,430kgの麻薬が見つかった。追走する4輪駆動車に乗っていたロアタン市長ハン氏など3人も、持っていた携帯電話の通話記録などから上水タンク車運転手と関係があることが判明したため同日、逮捕され、翌30日に4人はテグシガルパに移送された。

2 外交

（1）日本関係

25日、当地世界食糧計画（WFP）事務所が発出するニュースレターにて、我が国のホンジュラスにおけるハリケーン被害に対する緊急無償資金協力（WFP連携）の一環として行われた食料支援について発表。日本政府は、ハリケーン・イータ及びイオタにより甚大な被害を受けたサンタバルバラ県サンタバルバラ市イングアジャ村の住民に対する食料支援の配布を行っている。

（2）米国関係

ア 2日、米国家安全保障局は、最近米国に不法入国した子連れの本国送還を促進すると発表

表。米当局によれば、中米からの不法移民は当初の予想に反して増加しており、6月は前年同月比で4.5%増であった。

- イ 4日、リカルド・スニガ米國中米北部3か国担当特使の国務省西半球担当次官補代理への就任が報じられた。スニガ氏は前日の記者会見で
- (ア) 8月末から始まる選挙キャンペーンで政治献金・寄付を装った犯罪組織からの資金流入についてや、無処罰や汚職に対する刑の軽減を実現するような法の承認といったことは、米国の国益に反するのみならずホンジュラス市民から政治への信頼を損なうものとして懸念している、
 - (イ) 対汚職・無処罰のためのグアテマラのCICIG及びホンジュラスのMACCIHのミッションが終了したことや、最近のエルサルバドルの米国との外交関係は非常に失望していると述べた。

(3) 台湾関係

21日、台湾政府は、新型コロナウイルス感染重症患者のため、追加の人工呼吸器を供与する旨発表した。現在、台湾では、二社が国産の新型コロナウイルスワクチンを開発中であり、そのうち一社は数日以内に国内で承認される予定。WHOが承認し、十分な生産量が確保できれば、ホンジュラスにかなりの量 (considerables) を供与する予定であるとした。台湾は、新型コロナウイルス感染対策として、これまでに、マスク、サーモグラフィー、PCR検査機器、検査キットをホンジュラスに供与してきた。

3 経済

- (1) 1日、中銀が2021 - 2022年のホンジュラス経済見込みを発表した。2021年第1半期の各指標を見ても、世界経済は新型コロナの影響から急速に経済回復をしつつある。こうしたことから、抗コロナワクチン接種状況と世界需要次第ではあるが、IMFは2021年7月に2021年を6%、2022年を4.9%成長に修正した（以前は、それぞれ5.5%、4.2%）。ホンジュラスでも、国内外の需給要因、好転している消費と民間投資、郷里送金の回復などにより、2021年第1半期は1.3%を記録している。これらより2021年から2022年にかけては年3.2%から5.2%の経済成長が見込まれる。
- (2) 6日、イスラス・デ・ラ・バイア県ロアタン市長が同市内に建設予定のZEDE「プロスペラ」に関して、市内郊外に設置するのではなくロアタン市が（自治体として）ZEDEの中核となるべく法的措置を取ろうとしていると報じた。
- (3) 13日、サンペドロ・スーラ市ラモン・ビジェーダ・モラーレス空港の今月16日からの24時間化が発表された。7月2日に改正されたLCC航空振興法に基づき、現在深夜2時までの離発着を24時間化することにより、LCC各社から高い要望が出ていた早朝便の設定が可能になる。

- (4) 23日、大統領府は、エルナンデス大統領がビットコイン財団チェアマンのブロック・ピアース氏らの訪問を受けたと報じた。ホンジュラス側は、大統領の他に、フィコサ銀行頭取カミーロ・アタラ氏、国民党大統領候補ナスリー・アスフラ氏、民間国内投資家などが出席した。ピアース氏ら米国起業家らは、ホンジュラスの地理的優位性から地域のロジスティックスの中心になりうることなど仮想通貨導入の高い可能性を示した。
- (5) 27日、郷里送金 (Remesa) が前年同期比で約36%増加していると報じられた。中銀によると、2021年1月から8月12日までの郷里送金 (Remesa) が前年同期比で約36%増加 (11億4,380万米ドル増加) の43億3,780万米ドルに上っている。中銀では2021年の予測値を18.7%としていた。

<主要経済指標>

◇主要経済指標◇	2021年				2020年	2019年
	7月	6月	5月	4月		
インフレ率 (前年同月比)	4.26%	4.67%	4.84%	3.96%	4.01%	4.08%
貿易収支 (百万ドル)	—	—	—	—	△2,557.9	△3,107.4
輸出 (百万ドル)	—	—	—	—	7,683.4	8,718.3
輸入 (百万ドル)	—	—	—	—	10,241.3	11,825.6
外貨準備高 (百万ドル)	8,632.8	8,645.4	8,540.2	8,483.0	8,148.8	5,808.9
外国からの送金 (百万ドル)	—	—	—	—	5,573.1	5,384.5
為替レート (対ドル月平均)	23.93	24.13	24.16	24.18	24.75	24.68

<出典：ホンジュラス中央銀行> ※貿易収支、輸出、輸入、外国からの送金は、四半期毎に発表

(了)